

令和元年度経済学部学生チャレンジプロジェクト事業成果報告書
お菓子で地域の魅力を再発見！
～給スイーツ所で糖分チャージ スイーツウォーキングプロジェクト～

代表 竹下 颯人（経営システム学科 3年）

（１）目的と概要

香川県内には、地元に住む人々から愛されている魅力的な菓子店が数多くある。私たち KAGAWA Maker は「お菓子で香川を盛り上げる」をコンセプトに 2017 年 4 月より活動してきた。その活動の一環として、香川県内の魅力的な菓子店をめぐり、実際に商品を試食・取材して、その商品や商品の作り手に関する情報発信を継続的に行ってきた。しかし、その活動を通して、それらの菓子店はとても素晴らしいお店が多いにもかかわらず、多くの人に知られているわけではないということが分かった。そこで、より多くの人に、香川県にはすてきな菓子店があることをもっと知ってもらいたい、素晴らしいお菓子を通して香川の良いところをもっと発信していきたいと考えた。

そこで、JR 四国の協力のもと、JR 四国が主催するイベント「駅からウォーク」において、イベント参加者に出発駅周辺の菓子店のお菓子を無料で配布し（お菓子は、菓子店に協力依頼して、無料でご提供いただく）、実際に食べていただくことで、地域の新しい魅力に気づいてもらいたい。また、最終的には、自分たちの手で企画した、駅から周辺の菓子店をラリー形式で回るウォーキングイベントを開催したいと考えている。このウォーキングイベントは、JR 四国や香川県ウォーキング協会にご協力いただきながらの開催となる。

（２）実施期間

令和元年 7 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日

（３）成果の内容

1) このプロジェクトの具体的な成果

・7 月 14 日（日）丸亀駅にてイベント

参加者：48 名

ご協力いただいたお店：寶月堂、直井製菓、乃だや、きさらぎの四店舗

当日は、39 名の参加者にお菓子を食べていただき、宣伝、アンケート調査を行った。

アンケート結果：今回のイベントを受け、今後お店に行こうと思いましたが？

はい 96%

無回答 4% （県外からの参加者を含む）

当日の様子



・12月8日（日）屋島駅にてイベント

参加者：10名

ご協力いただいたお店：ボンボニエール、菓匠柴野、松月堂、ボルドー洋菓子店、
かにわしたルト

アンケート結果：今回のイベントを受け、今後お店に行こうと思いましたか？

はい 80%

無回答 20% （県外からの参加者を含む）

当日の様子



自分たちで企画したウォーキングイベントも行いたかったが、場所の選定や協力をお願いするお店の選定・都合など様々な条件が合致しないと不可能なものであったため、実行までには至らなかった。しかし、来年度以降自分たちで企画したウォーキングイベントの開催に少しでも近づけるため、後半は現地での調査を中心に行った。

・1月22日（水）JR 志度駅周辺の菓子店取材

訪問したお店

- ・ショコラショコラコーヒー

所在地：香川県さぬき市志度 1887-1

- ・アイナ・ふろーりあん

所在地：香川県さぬき市志度 1895-1



・1月25日（土）JR 琴平駅周辺の菓子店取材

訪問したお店

- ・こんぴらプリン

所在地：香川県仲多度郡琴平町 716-5

- ・アカボシ珈琲店

所在地：香川県仲多度郡琴平町 820-1

- ・灸まん本舗石段や 本店

所在地：香川県仲多度郡琴平町 798



- ・2月18日（火）JR 引田駅周辺の菓子店取材
訪問したお店

- ・café kuki

所在地：香川県東かがわ市引田 1657-1



- 2) このプロジェクトが大学や地域社会の活性化、学業の振興などに対してもたらした影響
あるいは効果

・アンケート結果にもあったように、今回の活動を通して実際にお店に行きたいと思った人が増えており、その中には県外から来られている方もいたので、地域の菓子店の魅力を広く知ってもらうきっかけになった。また、駅前で活動を行ったため、多くの人の目に触れることとなり、香川大学生が地域に貢献する活動をしていることが多くの人にアピールできたのではないと思う。また、ご協力いただいたお店にはイベント終了後報告をしたが、その際には、大学生とイベントをすることに対して非常に肯定的な意見もいただけ、今後ご協力いただける運びとなった。

また、来年度以降継続的にこの活動を続けていくために取材を行ったが、今後のコース設定に役立つものになった。今後もさらに多くの菓子店を取材しつつイベントの計画を立てていきたいと考えている。

（４）プロジェクトから学んだこと

今回のプロジェクトでは、自分たちで企画したウォーキングイベントも行いたかったが、場所の選定や協力をお願いするお店の選定・都合など様々な条件が合致しないと不可能なものであったため、実行までには至らなかった。しかし、来年度以降自分たちで企画したウォーキングイベントの開催に少しでも近づけるため、後半は現地での調査を中心に行った。今回のプロジェクトからは、綿密な計画の大切さと実行力が大切であるということを学んだ。多くの人を巻き込む企画であり、様々な立場の人を巻き込む企画であるため、計画は慎重に、実行は早めを意識していかなければならないと感じた。また、活動を通して感じたのは、SNS などによる不特定多数の人に情報を届けることも有効な手段ではあると思うが、ア

ンケートでもわかるように、今回のイベントのように特定の人に直接訴えかける手段はとても有効であることを実感した。今後も様々なイベントを通して、香川県の魅力をお菓子から発信していきたいと思う。

(5) 実施メンバー

竹下 颯人	経済学部	3 年	(代表)
青木 萌々果	経済学部	3 年	
岡本 えみり	農学部	3 年	
池田 果蓮	法学部	2 年	
越智 なぎ沙	法学部	2 年	
加藤 真由	法学部	2 年	
澤田 みのり	経済学部	2 年	
瀬尾 友加里	経済学部	2 年	
松原 菜々子	法学部	2 年	
海田 梨沙	経済学部	1 年	
河瀬 美里	農学部	1 年	
重松 音緒	経済学部	1 年	
園田 真夕	法学部	1 年	
武田 奈津実	経済学部	1 年	
豊田 七海	経済学部	1 年	
宮幸 祐輔	創造工学部	1 年	
村田 絵美	農学部	1 年	
吉本 菜々子	経済学部	1 年	

(6) 執行経費内訳書

配分予算額		87,194 円		
執行経費	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
鉄道賃 (JR: 高松－丸亀往復)	1	1,100	1,100	
鉄道賃 (JR: 高松－志度往復)	4	720	2,880	
鉄道賃 (JR: 高松－琴平往復)	4	1,740	6,960	
鉄道賃 (JR: 高松－引田往復)	4	1,940	7,760	
鉄道賃 (JR: 高松－善通寺往復)	3	1,540	4,620	
合計			23,320	